

別記第 10－2 号様式（第 14 条関係）

清水町町民提案型まちづくり事業

事業実績書

【団体名 清水町商工会青年部】

研修事業名	青年部事業の活性化の模索と渋沢栄一ゆかりの地を巡る研修事業
研修の目的	20 年ぶりに刷新され令和 6 年 7 月に新 1 万円札の肖像画としてデザインされることになった渋沢栄一翁、清水町開墾に深く関わる熊牛農場(十勝開墾合資会社)を創設し、明治 41 年に熊牛農場を訪れて 115 年。そして現在、清水町で事業を営む経営者・その後継者団体として、経済人そして公共の利益を追求した渋沢栄一翁と関わりのあるゆかりの地を訪ねることで郷土愛を育み、更に今その地で事業を営む事業者団体との交流・意見交換を行うことによりお互いの団体の活性化、しいては経営者・今後経営者となる者としての資質向上のヒントを得ることを目的とする。
研修期間	令和 6 年 1 月 12 日(金)～令和 6 年 1 月 14 日(日)
研修場所	埼玉県深谷市及び東京都北区
参加者数	10 人
研修の概要及び成果	概要としては、清水町が近年交流を深めている深谷商工会議所や商工会、東京商工会議所北支部の青年部の方々と交流を図ることにより、1,000km 以上離れた地ではあるが、それぞれの地域で次の商工会組織を担うものとして、経営者としての資質向上、あわせて地域の振興・発展、新しいまちづくりに取り組む組織としての目的は同じである。渋沢栄一翁で繋がった点と点を線・面として更に発展させ今後も発展させる為に、各単会の活動内容などの情報交換・今抱える問題や地域振興に対してどのような考えを持っているのか等意見交換を行うことで、それを今後の青年部活動にフィードバックさせ、各種事業を活性化させる事、更には今後どのような繋がりを持てるのかなど交流を深める研修内容とした。また、ゆかりの地を訪ねる事で、渋沢栄一翁の理念である「道徳経済合一」、規模は違えど、青年部として活動を行う事で地域に住む人への貢献をしながら自社事業所の持続的な発展をさせていくという事は同じであると考える事から、この理解を深める研修を実施した。 1/12(金)深谷商工会議所青年部及びふかや市商工会青年部との研修においては、「渋沢栄一記念館」にて渋沢栄一の各種資料からその生涯を学んだ。またアンドロイドとして蘇った渋沢栄一翁による「道徳経済合一説」の講義を受講し、その後、渋沢栄一が 23 歳まで過ごした旧渋沢邸「中の家」を訪れた。その後、部員間同士でお互いの地域の情報交換、自社の商品で何か繋がりはないか等の話し合いをする事が出来た。 1/13(土)東京商工会議所北支部青年部との研修においては、昼食会を通してお互いの青年部事業報告や意見交換を行った。また王子製紙工場跡や飛鳥山公園を散策し、東京での渋沢栄一の生活の一部を感じることが出来た。昼食会では、福利厚生事業をとおして交流を深めてはどうか？との人的交流についてや、お互いの商品をイベントなどで販売し合う物での交流をしてはどうか？など意見が上がった。 今回 2 箇所の渋沢栄一との関わりのある地での商工会議所及び商工会青年部との交流をとおして地域を思う気持ちは変わらない事を確認する事が出来た。また、渋沢栄一で繋がった縁を今後も継続していく為に、お互いの情報交換などを行うことや、来道される際は、当町へ足を伸ばしていただき更なる交流を深めていきたい旨のお話をさせて頂いた。本研修結果を今後どのような形で青年部事業に活かしていくかを検討し青年部事業の充実及び地域の活性化を図る上で大変有意義な研修となったと総括する。

※研修報告書（任意様式）及び研修に係る資料や写真を添付すること。

令和6年1月12日(金)～1月14日(日)開催
清水町商工会青年部「道外視察研修」研修報告書

【令和6年1月12日(金)】

『深谷商工会議所青年部及びふかや市商工会青年部』との研修

○深谷商工会議所青年部出席者

NO	役 職	氏 名	事業所名	業 種
1	会 長	酒井 享介	山一造園株式会社	造園業・飲食業
2	前会長	坂田 光司	株式会社サカタ	建設業
3	副会長	下山 勇人	A Gジャパン株式会社	保険業
4	専務理事	大野 隆徳	株式会社岡部コントリビューションパーク	施設賃借
5	事務局	加納 和陽	深谷商工会議所	

○ふかや市商工会青年部出席者

NO	役 職	氏 名	事業所名	業 種
1	部 長	四ツ井 貴博	株式会社ロワール	給食事業

■ 当日は、天候にも恵まれ気温も17度とこの時季には珍しく深谷特有の「からかつ風」もない状態で研修に望むことが出来た。研修内容としては「渋沢記念館」「中の家」を深谷商工会議所青年部及びふかや市商工会の青年部長と周り、渋沢栄一に対する知見を深める事及びその地で活動する青年部員との交流を深める事が出来た。

特に渋沢栄一の礎を築いた地を体感し、深谷市と清水町という遠く離れた地ではあるがこうして現在、商工業の事業を営む者同士が繋がりをもてたという事を感慨深く感じながら、今後の更なる交流が両青年部にとっての事業活性化に繋がると感じた研修となった。



↑ 渋沢栄一記念館
での写真

← 中の家

【令和6年1月13日(土)】

『東京商工会議所北支部青年部』との研修

○東京商工会議所北支部青年部出席者

NO	役 職	氏 名	事業所名	業 種
1	幹事長	石井 達也	まきや商事株式会社	飲食業
2	副幹事長	関根 康弘	玉川食品株式会社	製麺業・卸売業
3	幹 事	佐藤 文将	株式会社玉越工業	自転車製造・卸業
4	幹 事	杉本 公太	株式会社ジンナイ	雨衣・前掛製造・卸業
5	幹 事	本橋 茂	有限会社本橋米店	米穀小売業
6	幹 事	田村 哲朗	株式会社エスティサービス	飲食業
7	部 員	木野 直之	合同会社 Kapii	中小企業診断士
8	部 員	畑川 麻紀子	Jimokids	その他
9	部 員	山崎 崇紘		中小企業診断士
10	O B	飯島 栄樹	飯島商事有限会社	公衆浴場業
11	O B	間野 浩臣	株式会社昭和建装	建設業
12	オブザーバー	田邊 恵一郎	東京鋼鐵工業株式会社	製造業
13	事務局長	石井 洋介	東京商工会議所北支部	
14	事務局	小澤 育生	東京商工会議所北支部	

■ 晴天に恵まれ東京商工会議所北支部青年部と研修を行うことが出来た。まず、北支部青年部の田村さんが運営する「QUAD17」にて昼食会を兼ねての研修を行った。両部員の自己紹介の後、令和5年度の事業報告を両長より行い意見交換を行った。交流を深める意味でまずは福利厚生事業を行ってはどうか？またイベントをとおして両青年部員さんの商品を紹介するなどは出来ないか？などの意見が出され、東京商工会議所北支部で毎年7月上旬に王子製紙の関係で来札されるとの事だったので、是非足をのばして清水町までお越しくださいとお伝えし、出席頂いていた北支部副会頭の田邊恵一郎様より本部の方で検討させていただきますとのお返事を頂いた。

その後、渋沢栄一が東京にて住まいを構えた飛鳥山に移動し、王子製紙工場跡地や飛鳥山公園を散策し交流を深めた。部員同士でお互いの事業に繋がるお話しも出来たとの事で、今回の研修をとおして更に繋がりを深める事ができることを熱望する。

